

科目コード 504-0111	和文：	日本とアジアの文化Ⅲ -日本の古典文学-			2期	金	3-4
	英文：	Cultures in Japan and Asia III :			2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学部学生			授業の形式	講義・学生参加型		
履修前提授業科目名	なし			密接な関係授業科目名	日本文化基礎論Ⅲ・Ⅳ、日本文化論		
備考							
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号		
志立正知	教育文化学部日本・アジア文化講座	教3-132・2611					
オフィスアワー				曜日及び時間：木5・6		場 所：志立研究室(教3-132)	

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的  
古典に対する知識や理解を深めることで、先人達の知恵に学ぶとともに、現代日本文化や日本人としての私たち 自身のアイデンティティを形成している文化的伝統を自覚的に扱う意識を育てる。
2. 到達目標
  1. 基礎的教養としての古典文学に対する知識を習得し、古典に親しむことができる。
  2. 作品の歴史的・思想的背景に対する基礎的知識を身につけ、それについて説明できる。
  3. 古人の知恵に学び、現代が古典から継承しているものについて、自らの力で考え論じることができる。
  4. 自らの意見を積極的に発信するとともに、他者の意見に耳を傾け、効果的な議論ができる。

### カリキュラム上の位置付け

幅広く深い教養、多角的でしなやかな思考力、総合的かつ自律的判断力を培い、豊かな人間性を涵養するという教養教育の目的に即し、大学人として必須の日本文化に対する基礎的理解と、それに根ざして今・自分を捉え直す力を身につけることをねらいとしている。目的主題別科目としては、「学問の体系」を重視する。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

古典文学作品、は先人達の英知の結晶である。そこには、当時の文化・思想などの伝統がさまざまな形で投影されている。それが今日なお読みつがれているのは、そこに普遍的な「人間」に対する深い洞察が潜んでいるからである。だからこそ、古典作品は今日なお生き生きとした光を放っている。本講義では、作品の文学的鑑賞をまず第一とする。同時に、作品が作られ享受された歴史的・社会的・文化的背景等についても言及を試みる。その上で、作品から浮かび上がる当時の人間・社会の本質を追求しながら、時代を超えて普遍的な人間と社会の問題や、その現代的意味について考察を発展させていきたい。

本年度は、今日もっとも親しまれている古典のひとつである『徒然草』を扱う。徒然草に記された内容は多様で、ときに真摯な求道者の側面を見せるかと思えば、極めて実利的な実生活に即した処世訓を記したりもする。それゆえに、時代や状況によってさまざまな読み方がなされてきた。こうした『徒然草』の多面的な側面それぞれに光を当てながら、兼好の生きた時代状況・思想的背景などを踏まえることで、兼好の求めた本質を明らかにする。こうした過程を通して、今日の日本人のアイデンティティに大きな影響を与えている「中世」という時代と、時代状況によって育まれた人生観・世界観に対する理解を深めることを目的とする。また、【レポート】や【発表】をとおして、自分自身の「生き方」を改めて見つめ直す姿勢を涵養するよう努める。

1. 古典・テキストという概念について【概説】
2. 中世的価値観の誕生と現代
3. 『徒然草』前後一兼好の体験した時代一
4. 『徒然草』の構成
- 5~7. 若き兼好と『徒然草』一序~三十段前後一  
貴族的価値観・無常の肯定・隠棲への志向
8. 詠嘆的無常観から積極的無常観へ
- 9~10. 無常との対峙【課題1】  
「無常迅速」の認識・「寸陰愛惜」・「諸縁放下」
11. 兼好の無常観のまとめ・兼好の眼差しとは【課題1レポート提出】
- 12~13. 兼好の眼差しと現実感覚【課題2】  
処世訓としての『徒然草』・『徒然草』の笑話
14. 王朝への憧憬【課題2レポート提出】
15. まとめ

【レポート課題1・2】では、事前に指定された対象章段についてのプレ・レポートを課し、授業ではそれに基づいて各自が意見発表や議論に参加できるよう予習を求める。その後、講義・議論を踏まえてレポートを完成させる（11回・14回に提出）。

### 授業に関連するキーワード

中世(鎌倉末~南北朝)	無常観	人間観
自然観	隠 遁	伝統的美意識
貴族的価値観		

### 成績評価の方法及び可否判定基準

- 1) レポート2回(各30%)…観点2・3
  - 2) 課題に対する討議への発言(20%)…観点4
  - 3) リフレクション・ノート(毎回授業終了時に記入・提出、20%)…観点1・2
- 欠席が5回に達した時点、あるいはレポートの未提出の時点で履修放棄と見なす。  
Aは80点以上、Bは79~70点、Cは69~60点とし、59点以下をD(不可)とする。

### 教科書・参考書等

テキスト：岩波文庫『徒然草』\*書店・生協などで各自用意すること  
参考図書：永積安明『徒然草を読む』(岩波新書)  
小林智昭『無常感の文学』(弘文堂)  
小松英雄『徒然草抜書』(講談社学術文庫)

科目コード 504-0121	和文:	日本とアジアの文化Ⅳ - 中国の文化と文学 -			2期	金	3-4
	英文:	Cultures in Japan and Asia IV : Literature and Culturers of the Chinese			2単位	30時間	選択
受講対象学生	教育文化学部ほか、全学部			授業の形式	講義		
履修前提授業科目名	特にありません。			密接な関係授業科目名	「日本とアジアの文化」に係る科目全般		
備考							
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号		
石川 三佐男	教育文化学部	教3-131・2610					
オフィスアワー 曜日及び時間：随時（会議等で不在の時は御免） 場 所：石川研究室（教3-131）							

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的  
1) 日本文化のルーツとなっている中国の文化や文学について知見を広め、その方面の基礎的教養を身につける。
2. 到達目標  
1) 中国の考古、文物、文学、人物、歴史等について基本的見方、考え方を養う。  
2) ものごとを裏証的に探求する方法について考える。

### カリキュラム上の位置付け

目的主題別科目「人間発達と文化」の一つ。  
「日本とアジアの文化」に即し、中国の文化と文学の発生と展開に関わっている。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

- 本授業は「最も古いものは最も新しい要素を宿している」という視点に立っている。
- 珍しい考古出土資料（映像・画像・写真など）を扱うよう努める。
- 古代の考古、文物、文学、人物、事件等を扱う。
- テーマは必ずしも連続していないが、互いに何らかの関わりをもつよう努める。
- 授業は「中国の文化と文学」に係る基礎的知見を養うことができるよう進める。

- 第01講 先秦の文化と文学—黄河流域の文字文化
- 第02講 先秦の文化と文学—黄河流域の青銅器文化
- 第03講 先秦の文化と文学—長江流域の青銅器文化
- 第04講 先秦の文化と文学—黄河流域の歌謡「詩経」
- 第05講 先秦の文化と文学—長江流域の歌謡「楚辞」
- 第06講 先秦の文化と文学—屈原伝説
- 第07講 秦代の文化と文学—始皇帝とその時代
- 第08講 秦代の文化と文学—始皇帝とその時代
- 第09講 秦代の文化と文学—始皇帝とその時代（前半の学習に係る小試験を行う）
- 第10講 漢代の文化と文学—馬王堆漢墓の世界
- 第11講 漢代の文化と文学—漢鏡の世界
- 第12講 漢代の文化と文学—漢鏡の銘文と文学
- 第13講 漢代の文化と文学—古詩の世界
- 第14講 唐代の文化と文学—鑑真渡日の謎
- 第15講 唐代の文化と文学—阿倍仲麻呂と井真成（後半の学習に係る小試験を行う）

### 授業に関連するキーワード

中国文化の特質	黄河流域の文化	長江流域の文化
伝世文献資料	出土文献資料	考古出土資料
学問方法論 三重証拠法		

### 成績評価の方法及び合否判定基準

評 価：前半の学習に係る小試験：35点、後半の学習に係る小試験：35点、  
平素の取組：30点 計：100点  
成 績：100点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、  
60点未満「D」

出席時数の扱い：「単位認定のきまり」による

### 教科書・参考書等

映像、画像、写真資料、プリントのほか、石川三佐男編「中国の文化と文学」を補助教材資料として用いる。  
可能な限りパワーポイントをも用いる。

科目コード 504-0188	和文:	芸術と文化Ⅱ ー世界の音楽と文化ー	2期	水	9-10
	英文:	Art and Culture II : World Music	2単位	15時間	選択
受講対象学生			授業の形式	講義	
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名	芸術と文化Ⅰ ー日本の音楽文化ー	
備考					
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号
武内 恵美子	音楽教育講座	2565			
オフィスアワー	曜日及び時間: 月曜日 13:00~17:00		場所: 教育文化学部2号館 206号室		

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的  
現在世界の音楽文化の基準となっている西洋音楽の歴史と、世界の音楽を学ぶことによって、国際的な視野に立った音楽文化の判断ができるようになることを目指す。
2. 到達目標  
世界の代表的な音楽文化の特徴を理解し聞き分けることができるようになる。また音楽文化を優劣なく判断・評価できるようになる。

### カリキュラム上の位置付け

世界中の音楽についての知識を幅広く身に付けることで教養としての音楽と柔軟な姿勢と判断能力を培う。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

1. ガイダンス 世界の音楽を学ぶために、西洋音楽史1 古代の音楽
2. 西洋音楽史2 中世・ルネサンスの音楽
3. 西洋音楽史3 バロックの音楽
4. 西洋音楽史4 古典派の音楽
5. 西洋音楽史5 ロマン派の音楽
6. 西洋音楽史6 近現代の音楽
7. 世界の音楽1 インドネシアの音楽
8. 世界の音楽2 インドの音楽
9. 世界の音楽3 アフリカの音楽
10. 世界の音楽4 西アジア・中央アジアの音楽
11. 世界の音楽5 ヨーロッパの音楽
12. 世界の音楽6 オセアニアの音楽
13. 世界の音楽7 アメリカ大陸の音楽
14. 世界の音楽8 東アジアの音楽(含:日本の音楽)
15. 試験

### 授業に関連するキーワード

西洋音楽史	民族音楽学	世界の音楽
音楽	文化	

### 成績評価の方法及び合否判定基準

1. 試験70%、受講姿勢(含・出席点)30%により評価。
2. 全体の1/3(5回)以上欠席した場合は試験を受けても単位は認定しません。
3. 注意をしても受講態度を改めない場合は当日の出席はカウントしません。
4. 30分以上遅刻の場合は欠席とみなします。
5. 何らかの事情により途中から受講できなくなる場合はその旨を連絡すること。
6. 受講登録後に連絡なしで受講を取りやめ、試験を受験しなかった場合、評価は「欠」ではなく「不可」になります。
7. 出席が足りていても試験を受けない場合は単位は認定しません。
8. 試験には授業中に配布したプリント、ノート他資料等の持ち込みを可とします。
9. 事情により試験を受けられなかった場合、申し出れば再試験を行います。追試験は行いません。

### 教科書・参考書等

なし 授業でプリントを配布。

科目コード 504-0223 (A) 504-0224 (B)	和文:	芸術と文化Ⅲ A(1期)/B(2期) —絵画にみる音楽と文学の照応—			1期	木	5-6
	英文:	Art and Culture III A/B: Common Themes in Arts			2期	木	5-6
					2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学部1~2年		授業の形式	講義			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名	アジア美術表現論			
備考							
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号		
猪巻 明	美術教育	教文1-315・2556					
オフィスアワー 曜日及び時間: 木曜日16:00~18:00 場所: 教文1-315							

### 授業の目的及び到達目標

<p>1. 目的 芸術の融合(文学, 絵画, 音楽の照応) 絵画と音楽の同一主題による芸術表現を追求する。 ルネサンスから現代までの絵画芸術と音楽芸術(交響曲, 交響詩, 舞踏曲, 歌劇, 楽劇, 歌曲, 童謡, 歌謡曲, 邦楽, その他)を比較しながら, 作品の時代背景と, 画家と作曲家についての芸術における係わりを学ぶ。</p> <p>2. 到達目標 1) 近代の西洋音楽が文学(詩, 小説, 戯曲)と絵画の影響のもとに成立していることが理解できる。 2) 西洋美術史の中で, イタリアルネサンス(15世紀), フランスロココ王朝時代(18世紀), フランス象徴派・印象派(19世紀), イギリスラ</p>	<p>フェエル前派(19世紀末), ベルギー象徴派・ウィーン分離派(19世紀から20世紀初頭), フランス・ナビ派(19世紀末から20世紀前半)のそれぞれの芸術運動と様式が理解できる。</p> <p>3) 日本の浮世絵がフランス印象派の画家を始め多くの西洋の画家に影響を与え, その上西洋の近代音楽にまで示唆していることを理解して, 説明できる。</p> <p>4) 近代日本画の中には日本の歌(歌曲, 童謡)や歌謡曲を反映した作品が多くみられ, この二つはいかに大衆文化と密着しているかを理解して, 説明できる。</p> <p>5) 邦楽と浮世絵, 近代日本画と浮世絵版画と邦楽との対照により, 日本の江戸時代以来の音楽と絵画の係わりを理解して, 説明できる。</p>
--	---

### カリキュラム上の位置付け

絵画と音楽の同一主題による様々な芸術表現の追求により, 一般教養としての芸術の理解を手助けしようとしたものです。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

- CD, ビデオ等(音楽) 拡大投影機, スライド, ビデオ等(絵画) による鑑賞を主として音楽と絵画の照応について学ぶ。
- レスピーギ「交響詩ポッティチェリの三枚の絵」(春, 東方三博士の礼拝, ヴィーナスの誕生)
  - ドビュッシー「牧神の午後への前奏曲」 「交響詩 海」 ストラヴィンスキー「春の祭典」 プーシェ「牧神とシュールリンクス」
  - ラヴェル「タフニスとクロエ」 シャガールが描いたバリ, オペラ座の天井画。ダフニスとクロエを描いた画家達
  - ドビュッシー「選ばれた女」 19世紀末英国ラファエル前派作品と同一テーマの音楽
  - ドビュッシー「ペレアスとメリザンド」 モーリス・ドニの「セザンヌ礼讃」に描かれたメーテルリンクと親交のあったナビ派の画家達
  - R. シュトラウス「サロメ」 モローの「雅歌」と矢代秋雄の「ピアノ協奏曲」ヨハネ伝に登場するサロメを描いたイタリアルネサンス・フィレンツェ派の画家達
  - ドビュッシー「月の光」 フォーレ「月の光」 ラヴェル「草の上」 ホフマン「舟歌」 ラヴェル「夜のガスパール」
  - ヴァトー「シテール島への船出」 銅版画家ジャック・カロ作品と絵画と音楽
  - ラフマニノフ 交響詩「死の島」 ワグナーとベックリン, ワグナーの楽劇と絵画
  - マーラー「第1交響曲」クリムト三部作「哲学, 医学, 法学」とマーラーの第8交響曲
  - クリムトの「彫刻」のアレゴリーとマーラー第5交響曲と映画「ベニスに死す」
  - ヴァイバルディ「四季」 厩絵とプリューゲル作品 ジャン・フランソワ・ミレーの四季を描いた作品
  - ブッチェニ 歌劇「蝶々夫人」小早川清「お嬢夫人」と「蝶々夫人」初演の舞台衣装デザイン画
  - 團伊玖磨 歌劇「夕鶴」北沢映月「ある月の安英さん」と福田豊四郎の挿絵「夕鶴」
  - 日本の歌と近代日本画作品 山田耕筰「この道」と山本丘人「残夢抄」 堂本印象「坂」 三浦文治「動物園行楽図」
  - 歌謡曲と近代日本画作品 美空ひばり, 石川さゆり, 小林幸子, その他
  - 邦楽の世界, 鈴木春信「白鷺」と坂東玉三郎の舞踊「白鷺」, 鍋木清方「道成寺」と坂東玉三郎の舞踊

### 授業に関連するキーワード

ルネサンス	ディアギレフ	パンの会
ロセッティ	オフィーリア	柳沢 健
越後獅子		

### 成績評価の方法及び可否判定基準

出席を前提とした, 3回のレポート(全授業15回の授業において3題の課題をレポートで提出する)の評価100%

### 教科書・参考書等

毎回の講義に用いるため作成したプリントを配布する。

- 参考書 種村季弘訳「象徴主義と世紀末芸術」  
河村錠一郎著「ピエゾリーと世紀末」  
高階秀爾著「名画を見る眼」 「ルネサンスの光と闇」 「美の回廊 ドラクワワからミロまで」

科目コード 504-0392	和文：	哲学の世界Ⅰ－哲学入門－	2期	火	3-4
	英文：	PhilosophyⅠ：Introduction to Philosophy	2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学部1～4年		授業の形式 講義・学生参加型		
履修前提授業科目名	特になし		密接な関係授業科目名 哲学・倫理学関係の他の授業		
備考					
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号
近藤智彦	教育文化学部	教文3-126・2605			
オフィスアワー 曜日及び時間：水9・10限 場 所：教3-126					

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的  
哲学的な思考法を身につける。
2. 到達目標  
まずは、一般にどのような問題が哲学的な問題であり、その問題についてどのような仕方で考えるのが哲学的な思考法であるとされるのかを学ぶ。その上で、みずから哲学的な問題を提起し、その問題についてみずから哲学的に考えることができるようになる。

### カリキュラム上の位置付け

まずは一般に哲学とはどのようなものとされるのかを学ぶという点では、目的・主題別科目の「3つの目的」のうち「(2)学問の体系」に関連するが、その上でみずから哲学できるようになることを目標にするという点では「(3)学問の方法」に関連し、さらには参加者全員の討議を通じて「(1)学問の進展」にも貢献することを目指す。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

親しみやすいが手強いすぐれた哲学入門書を手がかりとして、さまざまな哲学的問題について哲学的に考えていく。

#### 【進行予定】

- 第1回 導入  
 第2～4回 「第1章 いまが夢じゃないって証拠はあるか」  
 第5～8回 「第2章 たくさん人間の中に自分という特別なものがあるとはどういうことか」  
 第9～11回 「第3章 さまざまな可能性の中でこれが正しいといえる根拠はあるか」  
 第12～14回 「第4章 自分がいまここに存在していることに意味はあるか」  
 第15回 「第5章 死と夢」・総括

#### 【各回の進め方】

- (1) 担当者による議論の整理と問題提起
- (2) 教員による主に哲学史的観点からの補足
- (3) 参加者全員による討議

### 授業に関連するキーワード

夢と現実	哲学と常識	自分と他者
善悪の客観性	言葉と世界	人生の意味
存在の神秘		

### 成績評価の方法及び可否判定基準

数回の担当と討議への積極的な参加が前提  
最終評価はレポートによる

### 教科書・参考書等

【教科書】永井均「翔太と猫のインサイトの夏休み：哲学的諸問題へのいざない」（ちくま学芸文庫、2007年）

科目コード 504-0401	和文：	哲学の世界Ⅲ - 自然と環境の思想 -			2期	月	1-2
	英文：	Philosophy III : Philosophy of Nature and the Environment			2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学部1~3年			授業の形式	講義		
履修前提授業科目名				密接な関係授業科目名			
備考							
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号		
勝 守 真	国際コミュニケーション	教文3-228・2648					
オフィスアワー	曜日及び時間：水 14:30~16:00			場 所：研究室			

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的
2. 到達目標  
「人が旅をするのは、到達するためではなく、旅をするためである」(ゲーテ)。

### カリキュラム上の位置付け

### 授業の概要と進行予定及び進め方

「自然環境を守ろう」とよく言われる——それは、環境を守ることが結局私たち人間の利益になるからか？ それとも、動物や植物、さらに水や土も、それ自体かけがえのない価値をもっているからか？ そもそも自然とは何か？ 自然科学の対象か、それとも科学を超えた何かを含んでいるのか？ この授業では、人間が歴史上、自然をどのように捉えてきたかを振り返りつつ、自然環境をめぐる現代の哲学的諸問題について考える。

### 授業に関連するキーワード

### 成績評価の方法及び合否判定基準

試験（論述式）

### 教科書・参考書等

科目コード 504-0421	和文:	哲学の世界Ⅳ - 論理学入門 -	2期	火	7-8
	英文:	Philosophy IV : Introduction to Logic	2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学部1~3年		授業の形式		
履修前提授業科目名			講義・演習		
備考					
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号
勝守真	国際コミュニケーション	教文3-228・2648			
オフィスアワー 曜日及び時間: 水 14:30~16:00 場所: 研究室					

**授業の目的及び到達目標**

1. 目的

2. 到達目標  
「人が旅をするのは、到達するためではなく、旅をするためである」(ゲーテ)。

**カリキュラム上の位置付け**

**授業の概要と進行予定及び進め方**

「私がいま言っていることはウソだ」と、だれかが言ったとしよう。その言葉はそれ自身、ウソか本当か? 論理学では、これを「うそつきのパラドクス(逆説)」という。それと似た例として、「落書きするな」という落書き、「私の命令に従うな」という命令などはどうだろうか?  
この授業では、記号論理学の基礎を学びながら、パラドクスの問題などを手がかりとして、論理と言語、論理と哲学との関係についても考えてみよう。

**授業に関連するキーワード**

**成績評価の方法及び合否判定基準**  
試験(論述を含む)

**教科書・参考書等**  
飯田賢一他「論理学の基礎」(昭和堂)

三 三 三

科目コード 504-0287 (A) 504-0288 (B)	和文:	情報と知識・技術A(1期前半)/B(2期前半) - 実際に役立つ学習技術-			1期前半	火	5-6
	英文:	Information Processing A/B: Actually Useful Study Technology			2期前半	火	5-6
					1単位	15時間	選択
受講対象学生	全学部 全学年		授業の形式	講義・演習			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名	図書館概論, 図書館サービス論, 図書館経営論			
備考	50名以内						
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号		
附属図書館長	附属図書館	2282					
オフィスアワー 曜日及び時間: 場所:							

### 授業の目的及び到達目標

#### 1. 目的

人類が蓄積した膨大な図書情報, 最新の専門分野の論文情報, 現代社会の各種情報を各自の勉学や卒業研究を含めた知的活動に役立てるため, 秋田大学及び全国の大学の図書及び専門論文データベースの構成並びにインターネットの概念などを理解すると共に各種検索システムを利用して目的の情報を効率的に得る方法を学ぶ。また, 調査収集した情報を解析, まとめてレポートを作成する方法を学ぶ。

#### 2. 到達目標

- 1) 秋田大学の図書検索システムの概要を簡単に説明できると共に, システムを利用して目的の図書・雑誌等を検索できる。
- 2) 全国の大学図書館等の蔵書検索システムを利用して必要な資料を検索できる。
- 3) 各種データベースから情報や論文を検索できる。
- 4) インターネット上の検索エンジンを利用した情報検索ができる。
- 5) 任意のテーマについて, 上記手法により情報を収集し, 調査研究すると共に, 結果をレポートにまとめることができる。

### カリキュラム上の位置付け

課外の学習を進めるに当たって, 図書館の利用, 即ち図書情報の利用に習熟することは必要不可欠であり, その意味では本科目は全カリキュラムの最初に位置するものである。また, 教育文化学部における, 学校図書館司書教諭及び図書館司書資格取得のための授業とも関連している。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

1. 図書館情報学概論 (附属図書館長)  
講義: 学術情報全般についての概論(大学での勉強の仕方-アカデミックスキル-を具体的に教えます)  
講義内容全般に関するガイダンス
2. 秋田大学附属図書館で所蔵の図書・雑誌の検索方法  
解説・演習 (図書館職員)  
Web版OPAC (秋田大学附属図書館蔵書目録) の使い方
3. 全国大学図書館等所蔵の図書・雑誌の検索方法  
解説・演習 (図書館職員)
  - 1) WebCAT (全国大学図書館蔵書検索) の使い方
  - 2) NDLOPAC (国立国会図書館蔵書検索) の使い方
4. 各種データベースによる雑誌論文の検索方法  
解説・演習 (図書館職員)
  - 1) 論文情報ナビゲータ (CiNii) の使い方
  - 2) その他のデータベースの使い方
5. インターネットの活用  
解説・演習 (図書館職員)
  - 1) オンラインジャーナルの活用
  - 2) 秋田大学附属図書館ホームページを活用した学術情報の検索
6. レポート・論文のまとめ方 (附属図書館長)  
レポートあるいは論文の具体的な作成方法やプレゼンテーションの仕方を分かりやすく教えます
7. 試験 (附属図書館長)

### 授業に関連するキーワード

情報検索	インターネット	図書館

### 成績評価の方法及び合否判定基準

評価: 100点満点とし授業への取り組み (30%) と試験 (70%) により評価します。

出席日数 (試験日を除く) が2/3に満たない者は試験を受けられません。

成績不振者、出席日数が足りない者に対して、レポート提出や追試験などの救済措置は行いません。

### 教科書・参考書等

「秋田大学情報探索ガイドブック2008」



科目コード 505-0540	和文:	教養ゼミナールⅠー人間関係と暴力(DV・虐待)ー	2期前半	火	5-6
	英文:	Seminar for CultureⅠ: Violence within human relations; Domestic violence and child abuse	1単位	15時間	選択必修
受講対象学生	全学部1-2年生		授業の形式 講義・学生参加型		
履修前提授業科目名	特になし。		密接な関係授業科目名 特になし。		
備考	20名以内				
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号
米 山 奈奈子	医学部保健学科	884-6547	熊 澤 由美子	医学部保健学科	884-6508
各分野の学外講師を招く予定。					
オフィスアワー 曜日及び時間: 適宜担当教員と連絡 場 所: 医学部保健学科 D-304研究室					

### 授業の目的及び到達目標

#### 1. 目的

現代社会の中では、あらゆる形で暴力が蔓延している。この講義の目的は、特に、家族や親密な関係で起こる暴力とその影響について、人権・健康・共生の三つの視点から学生が主体的に学びを深め、よりよい人間関係を構築する礎とすることである。

#### 2. 到達目標

- 1) DVや虐待の概念を理解することができる。
- 2) 暴力と人権との関係や関係法規を理解することができる。
- 3) 暴力の結果としての健康問題を理解することができる。
- 4) 暴力防止及び予防対策について考えることができる。
- 5) 「男女共同参画・子育て支援・健康で安全な社会をつくる」等のために、暴力防止及び予防対策を提案し、実践を試みることができる。

### カリキュラム上の位置付け

学生との討議を通じて、人類が未解決の問題について考えることを狙いとした、教養ゼミナール開講科目の一つである。この科目では、学生の独創的・批判的な思考力、社会生活からさまざまなことを感じ取る力、必要なデータを収集する力が求められ、人間理解が深められると考える。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

1. DV・虐待とは何か；定義と類型、人間関係や健康への影響（米山奈奈子）
2. DVと人権；DV被害者の現実と法律相談の側面から（弁護士 狩野節子氏）
3. DVと女性福祉；秋田県のDV被害の現状と被害者支援の実際（秋田県女性相談所長 佐藤英代氏）
4. 児童虐待とは何か；秋田県の児童虐待に関する相談の現状と介入の実際（秋田県北児童相談所長 柴田静寛氏）
5. 児童虐待とDVそして地域の健康問題；精神保健の視点から（熊澤由美子、米山奈奈子）
6. 子どもの安全な成長を支援する；子どもの話を聴くということ（NPO法人チャイルドラインあきた代表 稲場みち子氏）
7. DV・暴力防止及び予防対策；高校生のためのデートDV防止セミナー（米山奈奈子）
8. まとめの発表及びディスカッション（レポート課題提出）

### 授業に関連するキーワード

ドメスティック・バイオレンス(DV)	児童虐待	被害者支援
デートDV	心的外傷後ストレス障害 (PTSD)	機能不全家族
アダルト・チャイルド(AC)		

### 成績評価の方法及び可否判定基準

出席20%、レポート60%、発表及びディスカッション20%

### 教科書・参考書等

- 以下の参考書の中から最低1冊は読んで講義に預むこと。
- ・「夫(恋人)からの暴力」調査研究会：ドメスティック・バイオレンス、有斐閣選書
  - ・養老孟司・山橋寿一・原ひろ子・大日向雅美：女と男のかんげい学、学文社
  - ・渡辺和子：女性・暴力・人権、学芸書房
  - ・山口のり子：DVあなた自身を抱きしめて、梨の木舎
  - ・山口のり子：愛する、愛される、梨の木舎
  - ・信田さよ子：シャナ・キャンベル・上岡陽江：虐待という迷宮、春秋社
  - ・振山寿子：女を殴る男たち、文芸春秋
  - ・西沢 哲：子どものトラウマ、講談社現代新書
  - ・豊田正義：家庭という病巣、新潮新書
  - ・森田ゆり：子どもと暴力、岩波書店
  - ・ランディ・バンクロフト/ジェイ・G・シルバーマン：DVにさらされる子どもたち、金剛出版
  - ・沼崎一郎：なぜ男は暴力を選ぶのか、かがわブックレット143
  - ・斎藤 学：男の勘違い、毎日新聞社
  - ・豊田正義：オトコが「男らしさ」を捨てる時、飛鳥新社
  - ・クラウドニア・ブラック：私は親のようにならない、改訂版、誠信書房
  - ・アン・W・スミス：アダルト・チャイルドレンの子どもたち、誠信書房
  - ・ジュディス・ハーマン：心的外傷と回復、みずうみ書房
  - ・小西聖子：インパクト オブ トラウマ、朝日新聞社

科目コード 505-0063 (A) 505-0064 (B)	和文:	障害と共生 I A (1期後半) / B (2期後半) - 福祉と人権-			1期後半	月	7-8
	英文:	Mainstreaming of People with Disabilities I A / B: Disabilities and co-existence			2期後半	火	9-10
					1単位	15時間	選択
受講対象学生	全学部		授業の形式	講義			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名				
備考							
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号		
内海 淳	障害児教育	教文4-511・2548					
オフィスアワー 曜日及び時間：月-金 12:00-12:50 場 所：教文4-511							

### 授業の目的及び到達目標

#### 1. 目的

- 1) 障害者及び障害者福祉の基礎的理解をする。
- 2) 障害者の権利擁護の意義を理解する。

#### 2. 到達目標

- 1) 障害者問題は身近な問題であることを説明できる。
- 2) ノーマライゼーションの意味を説明できる。
- 3) 障害者福祉の特質と仕組みを説明できる。
- 4) 人権侵害の背景と権利擁護の在り方を説明できる。
- 5) 当事者活動の意義を説明できる。

### カリキュラム上の位置付け

### 授業の概要と進行予定及び進め方

1. 障害の概念と障害者の現状
2. 障害者福祉の理念：ノーマライゼーション
3. 障害者福祉施策の特質
4. 障害者福祉の仕組みと現状
5. 障害者への人権侵害
6. 障害者の権利擁護
7. 権利擁護としての当事者活動

### 授業に関連するキーワード

障害者	障害者福祉	ノーマライゼーション
人権侵害	権利擁護	当事者活動

### 成績評価の方法及び可否判定基準

### 教科書・参考書等

科目コード 505-0043(A) 505-0044(B)	和文:	人権と共生 I A(1期)/B(2期) -日本史上の差別と被差別-	1期	集中	
	英文:		Human Rights I A/B: History of Minorities in Japan	2期	集中
			1単位	15時間	選択
受講対象学生	全学部1~3年		授業の形式 講義		
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名		
備考	別途掲示により通知				
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号
熊田亮介	文化環境	教文3-337・2668			
オフィスアワー 曜日及び時間: 木 14:30~17:30 場 所: 教文3-337 (電話: 889-2668)					

**授業の目的及び到達目標**

- 目的  
被差別部落・ハンセン病・異民族・少数民族など、日本史上における多様で広範な差別・被差別の歴史的構造とその特質を検証し、差別解消への取り組みの歴史的経緯とあるべき社会像について考える。
- 到達目標  
講義で取り上げる問題について、関係文献を読み、多様な視点から検討を加えて、自分の意見を取りまとめる。

**カリキュラム上の位置付け**

**授業の概要と進行予定及び進め方**

- 現代日本における偏見と差別
3. 沖縄から/沖縄へ  
ウチナーとヤマトンチュー、沖縄人にとっての歴史を検証し、その歴史的・現代的課題について考える。
- 4~5. ハンセン病と被差別民  
ハンセン病と被差別部落の歴史をたどり、その歴史的・現代的課題について考える。
- 6~7. アイヌ民族と在日朝鮮・韓国人  
アイヌ民族と在日朝鮮・韓国人の歴史をたどり、その歴史的・現代的課題について考える。
8. ケガレとキヨメ、異化と同化

**授業に関連するキーワード**

偏 見	差 別	マイノリティー

**成績評価の方法及び合否判定基準**

各授業時間に行う小レポートと複数回のレポートをもとに評価する。

**教科書・参考書等**

教科書は使用せず、授業用資料をその都度配布する。参考書は随時紹介する。

科目コード 505-0103 (A) 505-0104 (B)	和文:	人権と共生Ⅱ A(1期後半)/B(2期後半) -教育と人権-			1期後半	火	7-8
	英文:	Human Rights II A/B: Education and Human Rights			2期後半	火	7-8
					1単位	7時間	選択
受講対象学生	全学部1~3年		授業の形式	講義			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名				
備考							
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号		
佐藤修司	教育文化学部	5-509・2541					
オフィスアワー 曜日及び時間: 金曜日 16:00~17:00 場所: 教育文化学部5-509							

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的  
教育の場面を中心にしながら、人権を考える視点を学ぶ
2. 到達目標  
教育における、親、子ども、教師、住民、国家などの様々な主体間の権利・義務関係を理解し、具体的場面での人権問題への視点、対処方法などを習得する。授業を通じて、自らのこれまでの振り返り、これからの展望することで、「自分くずしと自分づくり」を考える視点を獲得する。

### カリキュラム上の位置付け

教育文化学部の基礎科目である生涯学習論2・3や、専門科目である教育文化行政論などの基礎に位置付くとともに、全学部学生にとっての基本的、社会的な教養としても位置付く。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

管理主義、能力主義といった教育の原理的問題と人権との関係を高し、教育課程や生徒・生活指導などの教育実践における人権の問題を検討し、さらに、人権教育、平和教育の問題についても考える。

1. 教育における管理主義: 体罰をめぐって
2. 教育における管理主義: 校則をめぐって
3. 教育における能力主義: 受験競争をめぐって
4. 教育における人権問題: いじめをめぐって
5. 教育における人権問題: 不登校をめぐって
6. 教育における平和と戦争

### 授業に関連するキーワード

人権教育	平和教育	管理主義
能力主義		

### 成績評価の方法及び合否判定基準

出席 (20%)、履修表 (20%)、レポート (30%)、最終試験 (30%)

### 教科書・参考書等

参考書: 佐藤修司著『教育基本法の理念と課題』学文社  
佐藤広美編『21世紀の教育をひらく』緑陰書房  
浪本・三上『「改正」教育基本法を考える』北樹出版

科目コード 505-0121	和文:	人権と共生Ⅲ 一男女共生論一			2期前半	木	3-4
	英文:	Human Rights III : Exploratory Gender Issues			1単位	時間	選択必修
受講対象学生	全学部		授業の形式	講義・学生参加型			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名	ジェンダー論			
備考							
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号		
望月 一枝	教科教育	教文1-206・2552					
オフィスアワー 曜日及び時間：金 7,8時限 場所：教文1-206							

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的  
友人関係や恋愛関係をジェンダーの視点で見直し、自らの恋愛観・人間観を構築する。
2. 到達目標  
男女が共に生きるためにジェンダー・センシティブな視点を獲得する。  
性と生の問題を社会や歴史との関係で考えることができる。

### カリキュラム上の位置付け

共生を考えるうえで、基礎的・基本的な教養として位置づけられる。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

1. 学生の友人関係・恋愛などにおけるコミュニケーションの特徴
2. DV相談から
3. 恋愛結婚の時代 制度としてのロマンチック・ラブ
4. 「一夫一婦制」への適行 一夫一婦制という科学
5. 人類のために恋愛を
6. 恋愛から戦争へ
7. 恋愛結婚の方へ

### 授業に関連するキーワード

ドメスティックバイオレンス	恋愛	セクシュアリティ
ジェンダー	セクシャルハラスメント	優性思想

### 成績評価の方法及び合否判定基準

発表 (40点)、レポート (60点)

### 教科書・参考書等

教科書：『〈恋愛結婚〉は何をもたらしたか 性道徳と優性思想の百年』加藤秀一、ちくま新書

科目コード 505-0202	和文:	人権と共生Ⅳーボランティア活動論ー			2期後半	水	5-6
	英文:	Human Rights IV : lecture on Volunteer Activities			1単位	15時間	選択
受講対象学生	全学部1~4年		授業の形式	講義			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名				
備考							
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号		
教育推進主管(責)							
オフィスアワー	曜日及び時間:			場所:			

<b>授業の目的及び到達目標</b>
<p>1. 目的 学生がボランティア活動を通じて地域社会の課題に積極的に取り組める基礎を養成する。</p> <p>2. 到達目標 ボランティア活動の意義と必要性を理解し、自らもその活動に参加するという行動意欲を惹起する。</p>

<b>カリキュラム上の位置付け</b>
社会の一員として、共同で社会を支えるための基本的考え方、具体的行動喚起を促す科目として重要な位置付けである。

<b>授業の概要と進行予定及び進め方</b>
<p>県内外のボランティア活動団体の現状と課題、そして期待について、県内のボランティア・NPOの実践者から率直に提案していただく。授業担当者が決まり次第掲示により周知する。</p> <p>詳細については、決定次第掲示するので、掲示に注意してください。 参考までに平成19年度に実施したものを掲載します。</p> <p>第1回 ボランティア・NPO活動とは何か 第2回 悲しみを支えるボランティア活動 第3回 地域でいのちを支えるボランティア活動 第4回 子どもと若者の自立を支援するボランティア活動 第5回 災害時のボランティア活動について 第6回 子どもを支援するボランティア活動 第7回 ボランティア活動の魅力</p>

<b>授業に関連するキーワード</b>						
<table border="1"> <tr> <td>ボランティア</td> <td>社会貢献</td> <td>NGO</td> </tr> <tr> <td>NPO</td> <td>いのち</td> <td></td> </tr> </table>	ボランティア	社会貢献	NGO	NPO	いのち	
ボランティア	社会貢献	NGO				
NPO	いのち					

<b>成績評価の方法及び合否判定基準</b>
毎回授業終了後に提出するレポートによる。

<b>教科書・参考書等</b>
教科書は特に使用しない

科目コード 505-0071 (A) 505-0072 (B)	和文:	医学と健康 I A(1期前半)/B(2期前半) -心臓と健康-	1期前半	火	7-8
	英文:	Medical Science and Health I A / B: Heart and Health	2期前半	火	7-8
			1単位	15時間	選択
受講対象学生	全学部1~3年生		授業の形式	講義	
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名		
備考					
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号
尾野 恭一	医学部	6069	増田 弘毅	医学部	6062
山本文雄	医学部	6133	西川 俊昭	医学部	6172
長谷川 仁志	医学部	6106	村上 学	医学部	6067
オフィスアワー	曜日及び時間:			場所:	

### 授業の目的及び到達目標

#### 1. 目的

心臓病を中心として、健康と医学について学ぶ

#### 2. 到達目標

- (1) 心臓の構造と機能について理解する。
- (2) 心臓病の病理について理解する。
- (3) 心臓病の種類、原因、症状を理解する。
- (4) 心臓病の治療に用いられる薬物について理解する。
- (5) 心臓病の外科手術について理解する。
- (6) 心臓病研究の技術について理解する。

### カリキュラム上の位置付け

### 授業の概要と進行予定及び進め方

#### 予定

- |       |           |             |
|-------|-----------|-------------|
| 4月8日  | 心臓循環生理学   | (担当: 尾野恭一)  |
| 4月15日 | 心臓病理学     | (担当: 増田弘毅)  |
| 4月22日 | 現代社会と心臓病  | (担当: 長谷川仁志) |
| 5月13日 | 薬物による循環制御 | (担当: 西川俊昭)  |
| 5月20日 | 心臓循環薬理学   | (担当: 村上学)   |
| 5月27日 | 心臓病の外科治療  | (担当: 山本文雄)  |
| 5月3日  | 心臓病学研究技術  | (担当: 尾野恭一)  |
| 6月10日 | レポート提出    |             |

### 授業に関連するキーワード

心臓	血管	心臓病
健康		

### 成績評価の方法及び可否判定基準

出席状況(2/3以上)とレポート(提出必須)による評価。

### 教科書・参考書等

指定しない

科目コード 505-0083 (A) 505-0084 (B)	和文:	医学と健康Ⅱ A(1期後半)/B(2期後半) 一子供の発達と健康一	1期後半	火	5-6
	英文:	Medical Science and HealthⅡ A/B: Development and Health of childhood	2期後半	火	5-6
			1単位	7時間	選択
受講対象学生	全学部	授業の形式	講義		
履修前提授業科目名		密接な関係授業科目名			
備考					
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号
小山田美香	医学部・小児科	884-6159	高橋志穂子	医学部・小児科(臨床心理士)	884-6159
渡部泰弘	医学部・小児科	884-6159	田口睦子	秋田県教育庁特別支援教育課	860-5135
小林寛幸	秋田県中央児童相談所	862-7311	武田一幸	秋田家庭裁判所	824-3121
オフィスアワー	曜日及び時間:		場所:		

### 授業の目的及び到達目標

#### 1. 目的

- 1) 小児の正常な身体的・心理学的成長発達を理解する
- 2) 小児の成長発達を促すためにどんな事が必要なのかを理解する
- 3) 発達障害について理解する
- 4) 学校における特別支援教育について理解する
- 5) 少年非行の現状と対応について理解する
- 6) 児童虐待の現状と対応について理解する

#### 2. 到達目標

- 1) 小児の正常な身体的・心理学的成長発達過程について、基本的な知識を説明できる
- 2) 小児の成長発達を促す具体的な方法を説明できる
- 3) 自閉症スペクトラム・ADHDなどの発達障害の概念と一般的対応について説明できる
- 4) 特別支援教育の概要について説明できる
- 5) 少年非行への対応について、基本的な知識を説明できる
- 6) 児童虐待への対応について、基本的な知識を説明できる

### カリキュラム上の位置付け

子どもの発達について、医学・教育・福祉のさまざまな観点から理解する事を目的とする

### 授業の概要と進行予定及び進め方

こどもを取り巻く環境は近年大きく変化しており、健康という概念そのものも変化していると言っても過言ではない。医療においては感染症中心の対応から生活習慣病・心の問題への注目が大きくなっているし、教育においては社会の変化・多様化の中で学校教育に求められるものも変わってきており、スクールカウンセラー制度や特別支援教育など新たな取り組みが行われてきている。そうした心理・社会的な状況までを踏まえた「こどもの発達」を理解するために、以下のコースを開講する。

6月17日	小山田美香(医学部・小児科):	こどもの発達(1)医学的な成長発達
6月24日	高橋志穂子(医学部・小児科臨床心理士):	こどもの発達(2)心理学的な成長発達
7月1日	渡部泰弘(医学部・小児科):	発達障害の理解と対応(1)
7月8日	渡部泰弘(医学部・小児科):	発達障害の理解と対応(2)
7月15日	田口睦子(秋田県教育庁特別支援教育課・指導主事):	特別支援教育の現状と取り組み
7月22日	小林寛幸(中央児童相談所・児童心理司):	児童虐待の現状と取り組み
7月29日	武田一幸(秋田家庭裁判所・主任調査官):	少年非行の現状と取り組み

### 授業に関連するキーワード

### 成績評価の方法及び可否判定基準

出席回数、授業態度

### 教科書・参考書等



科目コード 505-0091 (A) 505-0092 (B)	和文:	医学と健康Ⅲ A(1期)/B(2期) -加齢と保健医療-	1期	木	3-4
	英文:	Medical Science and Health III A / B: aging and health care	2期	木	3-4
			2単位	30時間	選択
受講対象学生	金学共通 1・2年		授業の形式 講義		
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名		
備考					
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号
浅沼義博	医学部保健学科	C-102・6524	ほか看護学専攻教員		
オフィスアワー 曜日及び時間: 適宜担当教員と連絡 場 所: 適宜担当教員と連絡					

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的
  - 1) 加齢に伴う身体的精神的変化を理解する。
  - 2) 高齢期における個人の生活の質的向上と保健医療との関わりを理解する。
2. 到達目標
  - 1) 加齢に応じた健康保持法, 医療への関わり, 医療側の対応が理解できる。
  - 2) 加齢と保健医療の現状を理解し, 高齢者へのいたわりの心をもてる。
  - 3) 加齢と保健医療について, 具体的に問題提起し考察することができる。

### カリキュラム上の位置付け

加齢と保健医療を理解するための基礎科目である。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

担当	(1期)	講義の内容	担当	講義の内容
1. 宮本郁子: 地域・老年看護学講座	4/10/08	高齢社会における保健医療の現状と課題(1)	1. 宮本郁子: 地域・老年看護学講座	10/2/08 高齢社会における保健医療の現状と課題(1)
2. 宮本郁子: 地域・老年看護学講座	4/17	高齢社会における保健医療の現状と課題(2)	2. 宮本郁子: 地域・老年看護学講座	10/9 高齢社会における保健医療の現状と課題(2)
3. 宮本郁子: 地域・老年看護学講座	4/24	高齢社会における保健医療の現状と課題(3)	3. 宮本郁子: 地域・老年看護学講座	10/16 高齢社会における保健医療の現状と課題(3)
4. 百田芳春: 基礎看護学講座	5/8	加齢と身体機能変化(1)	4. 柳屋道子: 地域・老年看護学講座	10/23 障害者と加齢(1)
5. 煙山晶子: 地域・老年看護学講座	5/15	高齢者ケア	5. 柳屋道子: 地域・老年看護学講座	10/30 障害者と加齢(2)
6. 鈴木圭子: 地域・老年看護学講座	5/22	高齢者の心のケア(1)	6. 煙山晶子: 地域・老年看護学講座	11/6 高齢者ケア(1)
7. 鈴木圭子: 地域・老年看護学講座	5/29	高齢者の心のケア(2)	7. 煙山晶子: 地域・老年看護学講座	11/13 高齢者ケア(2)
8. 柳屋道子: 地域・老年看護学講座	6/5	障害者と加齢(1)	8. 鈴木圭子: 地域・老年看護学講座	11/20 高齢者の心のケア(1)
9. 柳屋道子: 地域・老年看護学講座	6/12	障害者と加齢(2)	9. 鈴木圭子: 地域・老年看護学講座	11/27 高齢者の心のケア(2)
10. 水沼秀夫: 基礎看護学講座	6/19	加齢と栄養(1)	10. 水沼秀夫: 基礎看護学講座	12/4 加齢と栄養(2)
11. 水沼秀夫: 基礎看護学講座	6/26	加齢と栄養(2)	11. 水沼秀夫: 基礎看護学講座	12/11 加齢と栄養(2)
12. 百田芳春: 基礎看護学講座	7/3	加齢と身体機能変化(2)	12. 百田芳春: 基礎看護学講座	12/18 加齢と身体機能変化
13. 浅沼義博: 臨床看護学講座	7/10	加齢と手術	13. 浅沼義博: 臨床看護学講座	12/25 加齢と手術
14. 兒玉英也: 母子看護学講座	7/17	中・高年女性の健康問題	14. 兒玉英也: 母子看護学講座	1/22/09 中・高年女性の健康問題
15. テスト	7/24	記述式テスト	15. テスト	1/29/09 記述式テスト

### 授業に関連するキーワード

加 齢	保健医療	健 康
ケ ア	栄 養	障 害
身体機能変化		

### 成績評価の方法及び合格判定基準

講義出席状況(2/3以上)を満した上で, 学習意欲・態度(10%), テスト(90%)

### 教科書・参考書等

特に, 指定しない。

科目コード 505-0162	和文：	医学と健康Ⅶー生命誕生の科学ー	2期後半	木	7-8
	英文：	Medical Science and Health VII B: The Science of Human Birth	1単位	15時間	選択
受講対象学生	全学生	授業の形式	講義		
履修前提授業科目名	特になし	密接な関係授業科目名	特になし		
備考	18年度以降入学者				
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号
兒玉英也	医学部保健学科	C-114・884-6513	水沼秀夫	医学部保健学科	C-113・884-6522
大友和夫	医学部保健学科	C-408・884-6510	佐々木久長	医学部保健学科	C-407・884-6506
工藤俊輔	医学部保健学科	C-305・884-6520			
オフィスアワー	曜日及び時間：月曜日 16:00-17:00		場 所：C-114		

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的  
ヒトの生命誕生に関わる医学領域として、先天異常、生殖医療、および性行動に焦点を絞り、生化学（遺伝学）、解剖学（発生学）、心理学の基礎的概念、ならびに先天異常、生殖医療、に関わる様々な臨床的課題、倫理問題について学ぶ。
2. 到達目標
  1. 先天異常のメカニズムに関する概念を理解する。
  2. 先天異常について、医学的、ならびに理学・作業療法的観点から幅広い知識を得る。
  3. 生殖医療における倫理問題について理解を深める。
  4. 人間の性の意識や性行動について理解を深める。

### カリキュラム上の位置付け

生命科学に関連する分野を学ぶ学生にとっては、生殖医療、先天異常や性行動異常などの生命誕生に関わる様々な異常を理解する基盤となるものである。保健学科学生には、専門教育の理解を深めるために有益なものである。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

- 第1回 11月27日 担当：水沼 「生命誕生に関わる遺伝学の知識」  
遺伝学の基本概念について復習し、遺伝子変異の基礎概念、点突然変異、対立遺伝子、などの、遺伝子異常に関わる基礎知識を得る。また、減数分裂時の染色体の状態、異数体、倍数体、欠失などの構造異常、の概念について理解する。  
(評価法) 講義内容に関連した課題をレポートとして提出させ、その記述内容によって評価を行う。
- 第2回 12月4日 担当：大友 「生命誕生に関わる発生学の知識」  
男性および女性生殖系の解剖と機能、精子形成、卵子形成、受精と着床、ヒトの初期発生の概略を学ぶとともに、臨界期の概念を理解する。また、環境因子（ウイルス感染、放射線、薬剤、化学物質）による先天異常発生のメカニズムについて学ぶ。  
(評価法) レポートを提出してもらい、それに基づいて評価を行う。
- 第3回 12月20日 担当：兒玉 「生殖医療と倫理」  
生殖医療の臨床の概念を学び、それにより発生する倫理問題についての理解を深める。
- 第4回 12月11日 担当：兒玉 「出生前診断について」  
出生前診断について、その医療倫理学的問題点について学ぶ。  
(評価法) レポート提出。
- 第5回 12月18日 担当：兒玉 「配偶子の供与について」  
生殖医療により行われる配偶子の供与、その医療倫理学的問題点について学ぶ。  
(評価法) レポート提出。
- 第6回 12月25日 担当：佐々木 「ヒトの性行動に関わる心理学」  
人間の性の意識（社会的性同一性及び生物学的性同一性）や性行動について、その正常な発達過程について学ぶ。また同性愛や性功能不全の心理についても理解する。  
(評価法) 評価はレポートで行う。
- 第7回 1月22日 担当：工藤 「障害児のこころ・人間のこころ-裸のいのち-」  
人間のこころというものは一般的容易にわからない。複雑であるし、一律ではない。捕らえどころがなく矛盾に充ちている。しかし、障害児の場合その不定形のこころが素直に表現されて、見えやすい場合がある。特に、重症心身障害児の場合、「いのち」とは何か、まさに「はだかのいのち」と接していることを実感することがある。本講義では障害児療育の概論と「いのち」とは何かについての理解を深める。  
(評価法) 評価はレポートで行う。

### 授業に関連するキーワード

先天異常	生殖医療	初期発生
遺伝性疾患	出生前診断	重症心身障害児
性同一障害		

### 成績評価の方法及び合否判定基準

出席した講義について、各講義ごとにレポートまたは試験にてA-Dの評価を行う（欠席はD扱い）。  
評価C以上の授業が7回の講義中5回以上に達していれば、合格とする。  
成績評価の方法：Aを80点、Bを70点、Cを60点とし、平均する。欠席のない学生に関しては、10点を加点する。値が80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとする。

### 教科書・参考書等

特になし。講義時に参考図書を紹介する。

科目コード 505-0221 (A) 505-0222 (B)	和文:	大学生と健康 A (1期) / B (2期) - 上手に生きる為の基礎知識 -			1期	木	7-8
	英文:	Students and Health A / B: A primer of mental and physical health for college students			2期	木	7-8
					2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学部1~3年		授業の形式	講義			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名				
備考							
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号		
苗村育郎	保健管理センター	2287	小林政雄	保健管理センター	2285		
円山啓司	非常勤講師	2286	平野秀人	非常勤講師	2286		
後藤優子	非常勤講師	2286	武村尊生	非常勤講師	2286		
オフィスアワー 曜日及び時間: 毎日 9:00-17:00 場 所: 保健管理センター							

<b>授業の目的及び到達目標</b>	
1. 目的	複雑な現代社会の生活では心身共に成長期である青年にとっては、社会環境から多くのストレスに晒され日常生活で健康に生き抜く知恵が必要である。増加している成人病（癌、心臓病、脳卒中）の予防は青年期から徹底化する必要がある。この科目は青年が直面している心とからだの健康状況を認識し、将来の生活の支えとなることを目的として行う。
2. 到達目標	健康で創造的な生活を送るためのもっとも基本的な知識を心と体の両面において身につけることを目指す。身体面では各種の生活習慣病や、感染症、不眠症などの予防法を学び、心理面では性格、人間関係、神経症や鬱病から信仰の問題に至るまで幅広く取り上げる。

<b>カリキュラム上の位置付け</b>	
心身の健康と社会生活のもっとも基礎的な部分を学ぶ。	

<b>授業の概要と進行予定及び進め方</b>	
1)	人類はこれまでに経験したことのない未曾有の高齢化社会を経験している。これはたんに成人病の増加ということに留まらず、社会の各部署で個人がどう対処していくかという視点を明確にしておかないと、将来の人類の生存をも脅かしかねない。成人病や癌や痴呆の予防方法、エイズをはじめとする感染症などの基礎知識などについては青年期までに十分な理解を持っておくことが重要であり、日常生活の中での対処の仕方を学んでおくことが必要である。
2)	また、高度情報化社会への移行に伴い、経済・社会情勢が急速に変貌している。このストレスにたえて、人生を健康に生き抜くためには、ますます多くの知恵や知識が必要となってきている。この講義では、深層心理や人格・性格・鬱病や自殺、宗教やカルトの問題なども取り上げて解説する。
3)	食事、睡眠、性欲、妊娠、出産、外傷や救急処置など、生活上の基本的な事柄についても、時間の許す限り専門家がわかりやすく実践的な知恵と知識を提供するように配慮している。
4)	これらを担当する教官は、内科学、精神医学、婦人科学、救急医学、心理学、宗教学などの専門家であり、各方面からの健康の守り方について、スライドやビデオなども用いて、具体的に講義する。

<b>授業に関連するキーワード</b>		
心と体の健康保険	成人病・鬱病・痴呆	睡眠障害と心身の調子
生活構造と人生・宗教	飲酒地喫煙の害と発癌	エイズ・妊娠・出産
救急措置・海外渡航		

<b>成績評価の方法及び可否判定基準</b>	
期末試験の結果と出席状況（毎回の質疑応答）、及びレポートを統合して行う。	

<b>教科書・参考書等</b>	
【学生と健康】（全国国立大学保健管理施設協議会編集）	

科目コード 505-0242	和文：	生命と健康 I B-現代日本に見られる生活習慣病-			2期前半	火	5-6
	英文：	Life and Health I B: Lifestyle-related diseases in Japanese			1単位	16時間	選択
受講対象学生	全学部1-3年生			授業の形式	講義		
履修前提授業科目名	特になし			密接な関係授業科目名	特になし		
備考							
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号		
福田 雅幸	附属病院歯科口腔外科	884-6188	金子 善博	医学部健康増進医学分野	884-6088		
石川 誠	医学部眼科学分野	884-6167	大西 洋英	医学部消化器内科学分野	884-6099		
山田 祐一郎	医学部老年科	884-6040	塩谷 隆信	医学部保健学科	884-6531		
清水 徹男	医学部精神科学分野	884-6122	村田 勝敬	医学部環境保健学分野	884-6085		
オフィスアワー	曜日及び時間：			場 所：			

<b>授業の目的及び到達目標</b>							
1. 目的 現代日本人に見られる慢性疾患の多くは生活習慣がその発症や進展に大きく関わっていることから生活習慣病とも呼ばれている。この講義の目的は、健康の保持・増進を図るために重要なライフスタイルと健康についての基礎的な知識を習得し、自らが健康的な生活習慣を身につけるとともに、その知識を卒業後の職業生活のなかで活用することができるようにすることである。							
2. 到達目標							
1)生活習慣病の概念を説明できる。							
2)食事、睡眠、スポーツ、嗜好品、ストレスなどが健康に与える影響について説明できる。							
3)口腔ケア、視力維持の重要性を説明できる。							
4)自らのライフスタイルの問題点を生活習慣病の観点から考察できる。							

<b>カリキュラム上の位置付け</b>							
現代社会のあり方と健康との関係に興味を持つすべての学生を対象とする。予備知識は必要としない。							

<b>授業の概要と進行予定及び進め方</b>							
10月7日 副題：咀嚼器官の成長と発達 担当 福田雅幸（口腔外科） 咀嚼器官の成長・発達と生活習慣病について概説する。							
10月14日 副題：現代社会と生活習慣病 担当 金子善博（健康増進） 生活習慣病予防のための予備知識について概説する。							
10月21日 副題：屈折異常と視力 担当 石川 誠（眼科） 屈折異常と視力について解説する。コンタクトと眼鏡、どちらが諸君に適切か？							
10月28日 副題：消化器の病気 担当 大西洋英（消化器） 消化器疾患と生活習慣について概説する。							
11月4日 副題：糖尿病と食事 担当 山田祐一郎（老年科） 現代人に多い糖尿病の予防について食事との関連で概説する。							
11月11日 副題：喫煙と肺の病気 担当 塩谷隆信（保健学科） 喫煙の歴史、生体に及ぼす影響、禁煙プログラムを理解する。喫煙は呼吸器以外の疾患とも関連があるとされている。							
11月18日 副題：現代社会と睡眠 担当 清水徹男（精神科） 現代人は睡眠を切りつめて生活している。その健康に与える影響は？諸君の睡眠・覚醒習慣について問いながら解説する。							
11月25日 副題：お酒と健康 担当 村田勝敬（環境保健） お酒の飲み過ぎで起こる肝疾患や依存症を正しく理解し、お酒と健康の関わりを考える。							

<b>授業に関連するキーワード</b>							
生活習慣・ライフスタイル		食事・睡眠・スポーツ		ストレス			
疾病予防・健康増進		医療経済		口腔ケア			
視 力							

<b>成績評価の方法及び合否判定基準</b>							
毎回のレポート提出、アンケート提出および出席状況を元に評価する。							

<b>教科書・参考書等</b>							
必要に応じて授業の際に関連図書を紹介する。							

科目コード 506-0011	和文:	ライフサイエンスⅡー生命の連続性ー			2期	火	3-4
	英文:	Life ScienceⅡ: Continuity of the Life			2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学部1-2年(医学部1年(高校で生物未履修者)と教育文化学部1年(特に自然環境選修進学者希望者)は特にお勧め)			授業の形式	講義		
履修前提授業科目名				密接な関係授業科目名			
備考							
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号		
石井照久	教育文化学部	教文4号館309・2681					
オフィスアワー 曜日及び時間: 水曜日16時-18時 場所: 教文4号館309							

### 授業の目的及び到達目標

#### 1. 目的

- 1) 生命は生命より生じ連続していく。ライフサイエンスのうち、この授業では生命の遺伝、生殖、進化などをミクロとマクロの両面から学ぶことによって、生命が誕生して以来、どのように現在までの道のりをたどってきたのかを理解することを目的とする。
- 2) ライフサイエンスの進歩の現状と、生命を取り巻く状況がどのように変化しているのかを理解することを目的とする。

#### 2. 到達目標

- 1) 生命観の歴史の変遷を説明できる。
- 2) 地球上での生命の歴史を概説できる。
- 3) 細胞のしくみ、生殖のしくみ、遺伝のしくみを説明できる。
- 4) 現代の生命科学技術の概略を説明できる。
- 5) 進化学を理解し、現代人の起源を説明できる。

### カリキュラム上の位置付け

過去の生物分野での学習歴を前提としない。医学部医学科1年で高校生物未履修者、教育文化学部1年で自然環境選修進学者希望者、および医学部保健学科1年で高校生物未履修者は、それぞれの専門分野のよい導入教育となるのでお勧めである。またその他の人にとっても21世紀に生きるうえで必須となる生命科学関連の常識を解説する。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

以下1回目から16回目までの進行予定です。本授業では、教科書を使用しますので教科書をあらかじめ購入し、すこしずつ読み進めておいて下さい。また授業時に教科書を持参して下さい。なお各項目の後に教科書以外で各項目に関連する参考図書のうち1冊を記載しましたので参考にして下さい。講義全体の参考図書は参考図書欄を見て下さい。αの部分は視聴覚教材を予定しています。

1. ガイダンス、
- 第1章 生命観の変遷 1) 生物学の始まり「目でみる生物学(三訂版)」
- 第1章 生命観の変遷 1) 生物学の始まり+α 「目でみる生物学(三訂版)」
- 第1章 生命観の変遷 2) 自然発生説について 「目でみる生物学(三訂版)」
- 第2章 生命の誕生について 「図説 生物の世界(三訂版)」
- 第3章 生命とは細胞とは その1) 「好きになる生物学」
- 第3章 生命とは細胞とは その2) 「生物学超入門」
- 第4章 生命の連続 1) 無性生殖と有性生殖 「遺伝子と夢のバイオ技術」
- 第4章 生命の連続 2) 生命の連続性 「絵でわかる生命のしくみ」
- 第4章 生命の連続 3) 遺伝子DNAとRNAとタンパク 「遺伝子時代の基礎知識」
- 第5章 現代の生命科学技術 1) 人体改造時代+α
- 第5章 現代の生命科学技術 2) 遺伝子と医療+α
- 第6章 進化学 1) 用不用説、獲得形質の遺伝説、自然淘汰(自然選択)
- 第6章 進化学 2) 分子の進化、現在の進化説 「分子進化学への招待」
- 第7章 現代人のルーツをたどる 「DNAに刻まれたヒトの歴史」
15. 期末試験

### 授業に関連するキーワード

生命	細胞	連続性
遺伝子DNA	生命科学技術	クローン
進化		

### 成績評価の方法及び合否判定基準

期末試験の前回までの出席率が2/3以上であることを前提とします。そして授業中の課題点(満点10点)と期末試験点(満点90点)の合計が60点以上で合格とします。なお追試は行わないので注意してください。

### 教科書・参考書等

教科書「『生きていく』ってどういうこと?生命のしくみを探る生物学」培風館  
 参考書「目でみる生物学(三訂版)」培風館 「遺伝子と夢のバイオ技術」「ゲノムでわかることできること」以上羊土社 「資源化する人体」「遺伝子組み換え動物」「遺伝子組み換え(食物編)」以上現代書館 「分子進化学への招待」「遺伝子時代の基礎知識」「好きになる生物学」「好きになる人間生物学」「絵でわかる生命のしくみ」「絵でわかる生物の不思議」「絵でわかる進化論」以上講談社 「図説 生物の世界(三訂版)」[DNA鑑定のはなし]「遺伝子でわかること、きまらぬこと」以上裳華房 「DNAに刻まれたヒトの歴史」岩波書店 「生物学超入門」日本実業出版社 「図解雑学生物学」ナツメ社 「大学1・2年生のためのすぐわかる生物」東京図書  
 その他は授業で紹介いたします。

科目コード 506-0023 (A) 506-0024 (B)	和文:	ライフサイエンスⅢ A(1期後半)/B(2期前半) - 動物たちの生殖戦略-			1期後半	火	5-6
	英文:	Life Science III A / B: Reproductive strategy of Animals			2期前半	火	5-6
					1単位	時間	選択
受講対象学生	全学部全学年		授業の形式	講義			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名				
備考							
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号		
河又邦彦	教育文化学部	4-312・889-2590					
オフィスアワー	曜日及び時間:			場所:			

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的  
生命を他と区別する最大の特徴は「増える」ことである。  
生物の「増える」戦略を通して、生命を理解することを目的とする
2. 到達目標
  - 1) 無性生殖と有性生殖について説明できる
  - 2) 雄と雌について説明できる
  - 3) 戦略により適応度が変化することを理解できる。

### カリキュラム上の位置付け

教養教育

### 授業の概要と進行予定及び進め方

- 1) 無性生殖と有性生殖
- 2) 性とは: 雄と雌
- 3) 生物たちの奇妙な性
- 4) 雄と雌はなぜ違う
- 5) オスの戦略
- 6) メスの戦略
- 7) ヒトの繁殖

### 授業に関連するキーワード

無性生殖	有性生殖	適応度
雄	雌	

### 成績評価の方法及び合否判定基準

課題、レポートにより判定する。3回以上休んだ場合は再履修となる。

### 教科書・参考書等

雄と雌の数をめぐる不思議、長谷川真理子著 中公文庫 700円

科目コード 506-0083 (A) 506-0084 (B)	和文:	生活の科学 I A(1期)/B(2期) -衣生活の科学-			1期	火	7-8
	英文:	Family and Consumer Science I A/B: Clohing for Quality Life			2期	金	1-2
					2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学部1~3年次		授業の形式	講義			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名				
備考							
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号		
石黒 純一	教育文化学部	教文1-304・889-2551					
オフィスアワー	曜日及び時間：金曜日、15:00~17:00			場 所：教文1-304			

**授業の目的及び到達目標**

1. 目的  
衣服の性能と着衣の目的を理解し、生活の場において適切な衣服の選択と着用ができるようになる。

2. 到達目標  
衣服の材料としての繊維・糸・布の関係を説明できる。  
表現として衣服を着る場合のポイントを説明できる。  
防御のために衣服を着る場合のポイントを説明できる。  
現在の自分の着衣状態について説明と評価ができる。  
他人の着衣状態について説明と評価ができる。

**カリキュラム上の位置付け**

現代と科学・技術の分野に配置されている科目であるが、「着る人」を前提にして我々の感性に密着した科学・技術を考えたい。

**授業の概要と進行予定及び進め方**

衣生活のシステムに沿って話をすすめ到達目標に近づく。  
理解を深めるために、絹を取り上げてその科学と技術について述べる。

- (1) 絹の生成 -衣料の原料・原点- (三回)
- (2) 生糸から絹織物へ -マクロからマイクロへ- (三回)
- (3) 絹織物の性能 -衣服性能への消費者要求とその実現- (四回)
- (4) 絹織物の着用 -裸の王様が求めたもの- (三回)
- (5) 絹の廃棄 -循環型社会における衣服の循環- (二回)

**授業に関連するキーワード**

衣生活	アパレル	快適性

**成績評価の方法及び合否判定基準**

定期試験50%、講義途中の小テスト(25%：提出回数+25%：提出内容)

**教科書・参考書等**

(2期) 小林茂雄他「衣生活論」(弘学出版)

科目コード 506-0313 (A) 506-0314 (B)	和文:	生活の科学Ⅱ A(1期)/B(2期) - 栄養の分子生物学 -			1期	木	5-6
	英文:	Family and Consumer Science II A / B: Molecular Biology of Nutrition			2期	水	5-6
					2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学部1-3年		授業の形式	講義			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名				
備考							
担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所 属	学内室番号・電話番号		
池本 敦	教育文化学部	教文1-204・2553					
オフィスアワー 曜日及び時間: 火 13:00-17:00 場 所: 教文1-204 (電話: 889-2553)							

### 授業の目的及び到達目標

1. 目的  
栄養素の生体内での役割や遺伝子との関係を分子レベルで理解することで、食生活と健康との関わり方の基礎科学を学ぶ。
2. 到達目標
  - 1) 栄養学の成り立ちとその生命科学における位置づけを理解する。
  - 2) 栄養素の機能を理解するための生化学と分子生物学の基礎を身につける。
  - 3) 代表的な栄養素の機能を分子レベルで説明できる。
  - 4) 食生活と生活習慣病との関わりや遺伝子組換え食品など、食の安全に関する最近の問題点を指摘・説明できる。

### カリキュラム上の位置付け

食品成分や栄養素を題材として、生化学と分子生物学の要点を講義する。栄養学は生命科学の応用的領域であり、生物学や化学の知識を実生活に結びつけるような内容を取り扱う。高校の化学・生物の未履修者は本授業によって当該分野の内容に触れることができる。また、ヒトが生活していく上で必要な食の安全と健康に関する教養的題材を扱う。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

- 原則として1回の授業でそれぞれ下記の項目1つを講義する。
- 1) ガイダンス: 生命科学領域における栄養学の成り立ちと目的
  - 2) 総論: 生体を構成する物質と細胞
  - 3) 総論: 分子栄養学とヒトの遺伝子
  - 4) グルコース代謝と糖尿病
  - 5) タンパク質・アミノ酸と生体機能
  - 6) 必須脂肪酸バランスと病態、食用油脂と健康 (1)
  - 7) 必須脂肪酸バランスと病態、食用油脂と健康 (2)
  - 8) コレステロール代謝と健康
  - 9) 抗酸化物質やビタミンC・Eと活性酸素・フリーラジカル
  - 10) β-カロチン・ビタミンAと視覚機能・遺伝子発現
  - 11) ビタミンD・カルシウムと骨形成・細胞内情報伝達
  - 12) 必須無機元素の生体内機能
  - 13) 生活習慣病の遺伝子と栄養
  - 14) 肥満と遺伝子
  - 15) 遺伝子組換え食品

### 授業に関連するキーワード

栄養	食品	生化学
分子生物学	遺伝子	生活習慣病

### 成績評価の方法及び合否判定基準

出席票による授業要約30%、試験50%、レポート20%で評価する。ただし、出席率が2/3以上であることが単位取得の必須条件とする。詳細な評価基準は今回の授業で説明するが、出席は出席票を記入することによりとる。試験は出題範囲を分割して、複数回実施する。レポートは、最終講義の時に課題を提示する。

### 教科書・参考書等

教科書は使用しないが、通じページ番号の付いた資料を毎回の授業で配布し、教科書的に使用する。従って、授業で配付された資料は全て毎回持参すること。また、参考書は適宜紹介する。



科目コード 506-0320	和文:	生活の科学Ⅲ ー環境共生住宅論ー	2期	木	5-6
	英文:	Family and Consumer Science III : Building Environmental Science	2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学部	授業の形式	講義・演習・実験		
履修前提授業科目名	特になし	密接な関係授業科目名	教育文化・地域科学課程の所属以外の学生は、特に		
備考					
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号
西川 竜二	教文・生活者科学講座	教文1-302・2691			
オフィスアワー 曜日及び時間：授業後（木曜7・8限） 場所：教文1-302					

### 授業の目的及び到達目標

<p>1. 目的 人間に健康・快適な住環境を、環境共生的な方法でつくるための見方・考え方や方法を学ぶ（主に暖かさ・涼しさ、又は明るさの環境を対象とする）。授業を通じて、健康や環境共生の観点で、自分・家族や更には地域社会の日常的な生活環境を捉えなおし、改善する意欲や実践力を涵養する。</p> <p>2. 到達目標 1) “環境にやさしい” という感覚的なキャッチコピー的な表現でなく、住生活（住まいづくり、住まい方）と環境・健康との関わりについて、科学的・具体的に説明できるようになる。例えば、 ○現在の住生活と都市環境問題、地球環境問題との関係 ○地域の伝統的家や現代のパッシブ建築・環境共生建築と呼ばれる建物に</p>	<p>備わる、太陽の光・熱など自然のポテンシャルを利用・制御して建築環境を調整する方法 ○建物を断熱することの個人・社会的な価値（燃料費節約以外の安全・健康・快適、省エネ・省資源、景観の伝承） ○今日までの住宅の断熱や冷暖房技術等の発展が健康にもたらした恩恵。一方、現在の電灯や冷暖房による一定な明るさ・温度の人工的環境での生活が人間の健康に与える悪影響。私たちが目指すべき住環境の目標とはどのようなものか。 ○秋田や東北地方の住環境の特徴、及び高齢社会における健康課題。 2) 上記1) を踏まえ、自分の身近な住環境を評価し、課題を認識し、それを改善する意識を持ち、実践行動できるようにする。</p>
---	---

### カリキュラム上の位置付け

秋田大学では基本的目標の1つに「環境」と「共生」を課題とした独創的な研究活動を行うことを掲げています。本授業では、誰にとっても身近な住生活における「環境」と「共生」に関する問題について、科学的な見方・考え方を学びます。これにより、環境共生に貢献する研究や活動を行うための素地を養います。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

授業は、プリント・スライドによる講義、それに関する演習・実験で進めます。序盤は、人に快適な環境とはどのようなものかについて、人の快適性の生理心理、現代日本人の住環境と健康課題、現代の住生活と環境負荷、地域の伝統的な住まい、を通して見方・考え方を養います。中盤に、学生参加型の住居模型実験で環境共生住宅の工夫とそれがもたらす快適環境を確かめ、その工夫の原理や実践方法を後半の授業で学びます。体験と結びついた生活実践につながる知識の習得をめざして、授業中の実験や演習、実際の居住環境の測定調査の課題などを取り入れて体験的に学びます。実験や調査に積極的に取り組める学生諸君の受講を推奨します。内容は以下を予定。

【01 ガイダンス】 授業概要と進行、成績評価等の説明/住環境学とは/授業全体のダイジェスト（予告編）と問題提起  
【02~03 温熱快適性を科学する】 人が暑さ・寒さを感じる仕組み/快適な温熱環境の諸条件/演習：教室の温熱環境を測って快適度・不満足者率（グレーム）を予測する  
【04 現代人のライフスタイル】 現代日本の住生活に関わるエネルギー使用とCO<sub>2</sub>排出量/秋田県の住宅からのCO<sub>2</sub>排出量の2050年までの推計  
【05 建築の形態・機能論】 植物の地域性・多様性（植生気候図）/伝統建築の地域性・多様性（民家気候図）/伝統建築文化と現代建築文明（パッシブ型技術とアクティブ型技術）/照明暖冷房技術の発展と近現代建築の形態の変遷  
【06~07 冬暖かく夏涼しい住環境づくり（学生参加型の住居模型実験/VTR視聴）】 少人数のグループで実施。良好な住環境を形成する建築的工夫（素材や形態の知恵・技術）の効果を住居模型を用いて実験。受講生自ら手と頭を動かして体験的に納得する。/実験の順番待ちの学生は、室町時代（土壁・土間床）、江戸時代（障子・畳座敷）の伝統民家の夏涼しい家づくりの技術に関するVTRを視聴。  
【08~09 日射の調整術】 デザイン性の高い日除け、高機能窓ガラス/実験：高機能窓ガラスの遮熱・断熱実験/演習：我が家で夏を涼しく過ごすための窓と日除けの最適デザイン  
【10~11 日除けVSエアコン】 エアコン・エコキュートの心臓部“ヒートポンプ”の仕組み。空気でお湯を沸かす？/冷房と都市気候（ヒートアイランド）/演習：日除け設置と省エネ型エアコンへの買い替え、どっちが快適でどっちがエコ（エコロジー・エコノミー）か？/実験：ヒートポンプの原理の体験（断熱圧縮による発火、断熱膨張による冷却）  
【12 冬季の住宅熱環境の現状と高齢社会の課題】 統計資料でみる住環境と健康の関係/高齢者の温熱生理・心理の特徴/東北の住宅における冬季の熱環境の実態と健康課題  
\* 冬季休業中の課題「自宅の冬季における熱環境調査」（配付の液晶温度計を用いた温度測定により、冬季の住宅熱環境の健康・快適性および暖房効率を診断）  
【13~14 住まいの断熱・蓄熱】 断熱にどんな価値を見出すか/断熱住宅の建て方（外断熱と内断熱）/パッシブソーラーハウス/断熱を活かした夏の住まい/学生参加型実験：内断熱と外断熱住宅の暖房環境の違いを理解する模型実験  
【15 総括】 期末試験（授業内容に関する論述問題）又は期末レポート課題の出題

### 授業に関連するキーワード

建築環境	住環境と健康	ヒトの快適評価のメカニズム
住生活と省エネ・環境問題	環境共生建築（住まいづくり）	環境共生型の住まい方

### 成績評価の方法及び合否判定基準

1) 授業中の課題（要約・意見・演習及び実験への参加、一部宿題もあり）(40%) ……到達目標1  
2) 冬季休業中の課題レポート「自宅の冬季における熱環境調査」(40%) ……到達目標2  
3) 期末の試験またはレポート(20%) ……到達目標1、2  
\* (1)欠席2/3未満、(2)住居模型実験への参加、(3)冬季休業中の課題レポートの提出、(4)期末試験の受験（又はレポート提出）の4つを成績評価の必要条件とします。

### 教科書・参考書等

教科書は使用しません。毎回の講義にプリント（スライドの抜粋等）を配付。授業後の発展学習として読んでもらいたい関連図書（図書館所蔵）を適宜紹介。例えば、甲斐徹郎・チームネット「まちに森をつくって住む」、野沢・小玉ら「シリーズ土曜建築学校 居住のための建築を考える」、小松義夫「地球生活記 世界ぐるりと家めぐり」。

科目コード 506-0191 (A) 506-0192 (B)	和文:	メカライフ A (1期後半) / B (2期前半) - 生活のなかの機械工学 -	1期後半	火	5-6
	英文:	Mechalife A / B : Mechanics in Living	2期前半	火	5-6
			1単位	15時間	選択
受講対象学生	全学部1~3年 (機械工学科を除く)		授業の形式	講義	
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名		
備考					
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号
神谷 修	工学資源学部	工資2-P304・2730	中村 雅英	工学資源学部	総合研究棟4階・2479
田中 學	工学資源学部	工資2-P303・2723	奥山 栄樹	工学資源学部	総合研究棟4階・2733
三浦 公久	工学資源学部	工資2-M213・2344	巖見 武裕	工学資源学部	工資2-M212・2725
足立 高弘	工学資源学部	工資2-M211・2306			
オフィスアワー	曜日及び時間: 火曜日 11:00 ~ 12:00		場所: 工資2-M213 (電話889-2344)		

### 授業の目的及び到達目標

- 目的  
教養として機械工学に関心を持ち、学ぶ楽しさを知ることが目的とする。
- 到達目標
  - 1) 機械工学とは、どのような学問であるのかを説明できる。
  - 2) 生活の中で機械工学がどのように役立っているのかを説明できる。

### カリキュラム上の位置付け

特に前提としている履修科目はない。

### 授業の概要と進行予定及び進め方

- (1期後半)  
機械工学に基づいて、新しい技術はどのように開発されたか、またどのような生産活動が行われているか、あるいはどのような工夫がなされているか、もの作りの興味を織り交ぜながら、教養としての内容を次のテーマで講義する。  
6月17日 : 人と環境にやさしいものづくり (神谷 修)  
6月24日 : 未来を開く工業材料 (田中 學)  
7月1日 : 生体と流体力学 (中村雅英)  
7月8日 : 海洋温度差発電と熱交換器-海に潜むエネルギー (足立高弘)  
7月15日 : 共振・共鳴現象を考える (三浦公久)  
7月22日 : 車いすのビューティフルデザイン (巖見武裕)  
7月29日 : ナノテク路散策 (奥山栄樹)  
ホームワーク : 報告課題「メカライフを受講して考えたこと」(三浦公久)  
(講義の順序は都合により変更することがある)  
教官によりそれぞれ特色のある工夫がなされ、机上実験、OHPをはじめいろいろな補助教材が使われる。
- (2期前半)  
機械工学に基づいて、新しい技術はどのように開発されたか、またどのような生産活動が行われているか、あるいはどのような工夫がなされているか、もの作りの興味を織り交ぜながら、教養としての内容を次のテーマで講義する。  
10月7日 : 人と環境にやさしいものづくり (神谷 修)  
10月14日 : 生体と流体力学 (中村雅英)  
10月21日 : 未来を開く工業材料 (田中 學)  
10月28日 : 海洋温度差発電と熱交換器-海に潜むエネルギー (足立高弘)  
11月4日 : 車いすのビューティフルデザイン (巖見武裕)  
11月11日 : 共振・共鳴現象を考える (三浦公久)  
11月18日 : ナノテク路散策 (奥山栄樹)  
ホームワーク : 報告課題「メカライフを受講して考えたこと」(三浦公久)  
(講義の順序は都合により変更することがある)  
教官によりそれぞれ特色のある工夫がなされ、机上実験、OHPをはじめいろいろな補助教材が使われる。

### 授業に関連するキーワード

機械工学	入門
------	----

### 成績評価の方法及び合否判定基準

全7回の講義終了後のレポートと、毎回の講義終了時に回収する質問票(講義によっては質問票の形をとらないこともある)の評価を点数化して成績をつける。レポートの評価はA (150), B (100), C (50), D (0:未提出)、質問票の評価はA (50), B (30), C (15), D (0:講義と関係ない質問または質問なし)とし、総合成績は、合計点が500満点中400点以上をA、350点以上をB、300点以上をC、300点未満をDとする。(質問票の評価は講義担当の各教官が行う)  
成績評価例 レポート:A, 質問票:A 3回, B 3回, C 1回の場合 150+3×50+3×30+1×15=405 ⇒ 総合成績A  
質問票の評価点が高いので講義に出席し、質問票を書いて提出することが肝要となる。メールアドレスを書き入れておけば(読み違いされないようきれいに書くこと)回答をもらえることがある。

### 教科書・参考書等

--

科目コード 506-0242	和文:	コンピュータの科学 I B-コンピュータ科学の基礎一			2期	火	3-4
	英文:	Computer Science I B: Fundamentals on Computer Science			2単位	30時間	選択
受講対象学生	全学(ただし情報工学科を除く)			授業の形式	講義		
履修前提授業科目名				密接な関係授業科目名			
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号		
佐々木 重雄	教育文化学部	教文4-413					
オフィスアワー 曜日及び時間: 水 10:00~17:00 場所: 教文4-413							

<b>授業の目的及び到達目標</b>							
1. 目的 コンピュータ科学の入門として、コンピュータ内部でのデータ表現および動作原理について理解する。							
2. 到達目標 データのデジタル化について説明できる。 コンピュータの構成について説明ができる。 データ表現とその処理について説明できる。 論理演算(ブール代数の演算)ができる。 簡単な論理回路の設計ができる。							

<b>カリキュラム上の位置付け</b>							
本講義は情報処理技術を習得する基礎教育として、重要なコンピュータの動作に関する基礎的知識を習得させるものである。							

<b>授業の概要と進行予定及び進め方</b>							
授業概要は以下のとおりに進める。							
1. ガイダンスと基礎知識 (1回)							
2. デジタル化について (2回)							
3. コンピュータの構成について (2回)							
4. データ表現について (4回)							
5. ブール代数と論理回路について (3回)							
6. 論理回路について (3回)							
全て講義で行い、板書を中心とする。							
3, 4, 6の最後には小テストを行う。							
基本的には教科書に従って行う。教科書巻末の演習問題は全ておこなっておくこと。また、授業外では下記の参考書や教科書で紹介されている文献を読んでおくことと理解が進む。さらに、総合情報処理センターのウェブサイトから、本授業のページへのリンクが張られているので、こちらも参照してもらいたい。							

<b>授業に関連するキーワード</b>							
デジタル		ブール代数		論理回路			
データ表現		2の補数表現		浮動小数点数表現 (IBEE754)			

<b>成績評価の方法及び可否判定基準</b>							
成績評価は3回の小テストを合計した点数で行う。							
Aは80点以上、Bは70点以上80点未満、Cは60点以上70点未満、Dは60点未満とする。ただし、小テストは2回以上受けるものとし、1回以下のものは放棄とみなす。							
テスト時に欠席した者の再試験は行わないものとする。							

<b>教科書・参考書等</b>							
教科書: 八村広三郎「計算機科学の基礎」近代科学社							
参考書: 都倉信樹「コンピュータ概論」情報処理入門コース1、岩波書店							
パターンソン、ヘネシー「コンピュータの構成と設計」第3版、上・下、日経BP							

科目コード 506-0251 (A) 506-0252 (B)	和文:	コンピュータの科学Ⅱ A(1期)/B(2期) - グラフとアルゴリズム -			1期	水	5-6
	英文:	Computer Science II A / B: Graph Theory			2期	水	5-6
					2単位	時間	選択
受講対象学生	全学部		授業の形式	講義			
履修前提授業科目名			密接な関係授業科目名	コンピュータの科学Ⅰ			
備考							
担当教員名	所属	学内室番号・電話番号	担当教員名	所属	学内室番号・電話番号		
上田 晴彦	教育文化学部	4-412・2765					
オフィスアワー 曜日及び時間: 場所:							

### 授業の目的及び到達目標

- 目的  
コンピュータ科学の理解に欠かせないグラフ理論について、その基礎事項を論述する。さらにグラフに関するアルゴリズムを学習することで、コンピュータ科学に対する理解を深める。
- 到達目標  
グラフ理論の基礎事項を理解し、アルゴリズムへの応用が出来るようになることを目標とする。

### カリキュラム上の位置付け

### 授業の概要と進行予定及び進め方

以下のトピックスについて、論述する。

1. グラフとはなにか
2. 木・グラフの連結性
3. 周遊可能性・線グラフ
4. 被覆・平面グラフ・4色定理
5. 色分け可能性・グラフと行列
6. グラフと群・有向グラフ
7. アルゴリズムの基礎
8. アルゴリズムとデータ構造
9. アルゴリズムと木
10. アルゴリズムと有向グラフ
11. アルゴリズムと無向グラフ
12. まとめと試験対策
13. 試験

### 授業に関連するキーワード

コンピュータ科学	グラフ理論	アルゴリズム

### 成績評価の方法及び合否判定基準

講義内容に基づいた試験を実施し、その結果で評価する。

### 教科書・参考書等

教科書は用いず、講義用プリントを配布する。